令和 5 年度（様式2）

国語科　現代の国語　シラバス

科目名		対象学科・学年	副読本
現代の国語		１学年国際文科・理数科・普通科	・評論・小説を読むための新現代文単語（いいずな書店） ・入試現代文へのアクセス（河合出版） ・現代の国語の基礎学習（尚文出版） ・1日1講現代文・評論編①（三省堂）
単位数	履修	系統科目	
2	必履修	現代の国語（1年必・２単位）	

学習方法のポイント

○現代の国語では、評論読解に必要な基礎力の定着を図ります。必ず授業の復習をし、単元ごとの振り返りをしましょう。
○定期的に課題を課します。意欲的に取り組み、確実に提出するようにしましょう。
○定期テスト以外に語彙力の定着を図るための小テストを行います。常に学習の定着の度合いを確認するようにしましょう。
○ノート、ワークシートは自分だけの参考書だと考え、きちんと整理し、テスト前の振り返りができるようにしましょう。
○平日、休日の学習計画を立て、家庭学習の習慣化を図りましょう。

定期テスト範囲（目安）　※追加・変更することもある。

学　期		教科書（単元）	備　考
１学期	中　間	評論	初見問題含む、副教材からも出題
	期　末	評論	初見問題含む、副教材からも出題
２学期	中　間	評論	初見問題含む、副教材からも出題
	期　末	評論	初見問題含む、副教材からも出題
３学期	学年末	評論	初見問題含む、副教材からも出題

学習サポート

○現代文単語や漢字などの暗記事項は定期的な小テストを行い、確実な「基礎・基本の定着」を図ります。
○学力の定着度合いに応じた講座を開講し、学力に応じたサポートを行います。

目標　言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

教科書　東京書籍　『現代の国語』

指導事項・言語活動例

			月	4	4	5	5	6	6	7	7	9	9	10	10	11	11	12	12	1	2	3	総時数
			単元名	物から事をとらえる視点	物から事をとらえる多角的な視点	意見文を書く	発えを想整理し広げ自分の伝考	言語文を理解の意味のあり方	言語文を理解の意味のあり方	言葉の要点を表現する自分の	情報を深める整理し，考え	現代社会の考構造を広げる視野を持と	文章を比較する力を伸ばす	思考を理解言葉を通ずることの者意の	思考を理解言葉を通ずることの者意の	現代社会の課題を考えつ	様々な視点から表現する文章	情報を沿って整理に，表目的	物事を見立て論を述べる筋道	筋道を立て論述する	様々な視点から読む力を伸ばす	様々な視点から読み伸ばす	
			指導時数	3	4	2	2	4	3	4	2	6	5	4	5	4	5	2	6	3	3	3	70
〔知識及び技能〕 言葉の特徴や使い方に関する事項 (1)	ア	言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解すること。			○		◎	◎	◎						◎								
	イ	話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，正確さ，分かりやすさ，適切さ，敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し，使うこと。						○													◎	◎	
	ウ	常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使うこと。												◎									
	エ	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。		◎	○					○	◎	◎	○			◎							
	オ	文，話，文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。		○	◎				○		○				○	○		○	◎	◎			
	カ	比喩，例示，言い換えなどの修辞や，直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。								◎							○						
情報の扱い方に関する事項 (2)	ア	主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。																	○	○	○	○	
	イ	個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。					○			○													
	ウ	推論の仕方を理解し使うこと。											○										
	エ	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。				◎					◎												
	オ	引用の仕方や出典の示し方，それらの必要性について理解を深め使うこと。															◎						
(3)	ア	実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めること。																◎					
〔思考力、判断力、表現力等〕				3	0	0	2	0	0	0	2	0	5	0	0	0	0	2	0	0	3	3	20
A 話すこと・聞くこと (1)	ア	目的や場に応じて，実社会の中から適切な話題を決め，様々な観点から情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討すること。					◎				◎												話すこと・聞くこと
	イ	自分の考えが的確に伝わるよう，自分の立場や考えを明確にするとともに，相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫すること。		◎			○						◎										
	ウ	話し言葉の特徴を踏まえて話したり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の理解が得られるように表現を工夫すること。																			◎	◎	
	エ	論理の展開を予想しながら聞き，話の内容や構成，論理の展開，表現の仕方を評価するとともに，聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。																◎			○	○	
	オ	論点を共有し，考えを広げたり深めたりしながら，話合いの目的，種類，状況に応じて，表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。									○							○					
(2)	ア	自分の考えについてスピーチをしたり，それを聞いて，同意したり，質問したり，論拠を示して反論したりする活動。		●			●						●										
	イ	報告や連絡，案内などのために，資料に基づいて必要な事柄を話したり，それらを聞いて，質問したり批評したりする活動。																					
	ウ	話合いの目的に応じて結論を得たり，多様な考えを引き出したりするための議論や討論を，他の議論や討論の記録などを参考にしながら行う活動。									●												
	エ	集めた情報を資料にまとめ，聴衆に対して発表する活動。																					
	他	上記以外の言語活動																					20
				0	0	2	0	0	3	0	0	6	0	0	5	0	5	0	6	3	0	0	30
B 書くこと (1)	ア	目的や意図に応じて，実社会の中から適切な題材を決め，集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して，伝えたいことを明確にすること。				◎						◎					◎			○			書くこと
	イ	読み手の理解が得られるよう，論理の展開，情報の分量や重要度などを考えて，文章の構成や展開を工夫すること。							○								○		◎				
	ウ	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう，根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに，文章の種類や，文体，語句などの表現の仕方を工夫すること。				○			◎						◎				○	◎			
	エ	目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。										○											
(2)	ア	論理的な文章や実用的な文章を読み，本文や資料を引用しながら，自分の意見や考えを論述する活動。				●			●														
	イ	読み手が必要とする情報に応じて手順書や紹介文などを書いたり，書式を踏まえて案内文や通知文などを書いたりする活動。																					
	ウ	調べたことを整理して，報告書や説明資料などにまとめる活動。													●								
	他	上記以外の言語活動										●											30
				0	4	0	0	4	0	4	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	20
C 読むこと (1)	ア	文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握すること。			◎			○		◎				◎		◎							読むこと
	イ	目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めること。			○			◎		○				○		○							
(2)	ア	論理的な文章や実用的な文章を読み，その内容や形式について，引用や要約などをしながら論述したり批評したりする活動。			●					●													
	イ	異なる形式で書かれた複数の文章や，図表等を伴う文章を読み，理解したことや解釈したことをまとめて発表したり，他の形式の文章に書き換えたりする活動。						●						●									
	他	上記以外の言語活動																					20
評価方法・評価材料			知	記述の点検	ワークシート	原稿	ワークシート	ワークシート	ワークシート	ペーパーテスト	ワークシート	ワークシート	原稿	ペーパーテスト	原稿	ワークシート	テスト	ワークシート	原稿	原稿	原稿	原稿	合計
			思	記述の分析	記述の分析	原稿	話し合いの内容	記述の確認	記述の分析	記述の分析	話し合いの内容	記述の分析	話し合いの内容	記述の分析	記述の点検	記述	記述	話し合いの内容	記述	話し合いの内容	話し合いの内容	話し合いの内容	
			態	行動の確認	アンケート	構成メモ	行動の観察	ワークシート	学術の点検	記述の点検	行動の観察	記述の点検	行動の観察	記述の点検	記述の確認	行動	行動	行動	記述の点検	記述の点検	記述の確認	記述の確認	70